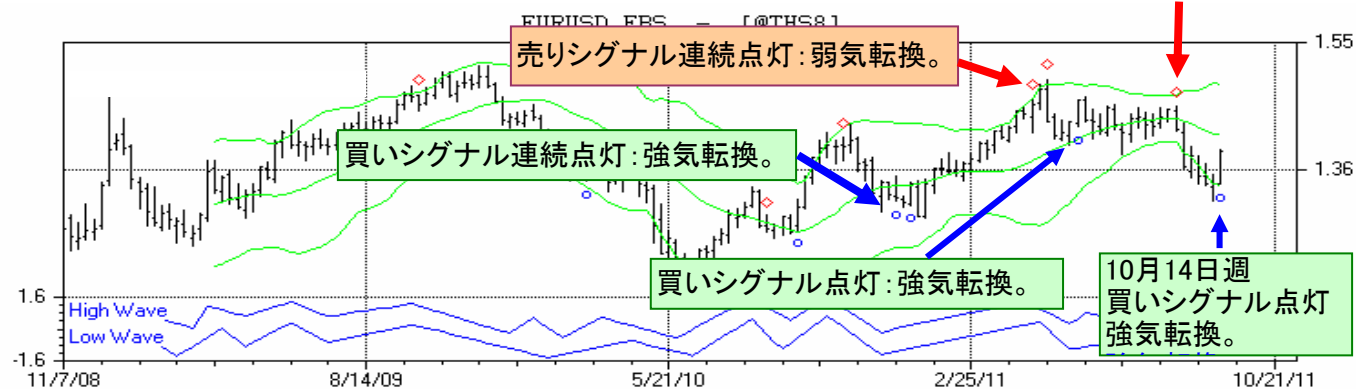


ユーロドル: 1.3884(1.3380)先週末NY為替市場終値

(下図ユーロドル中期週足売買シグナル:)



- 売買シグナル: 逆張りエントリー
- 周期的転換点を予測するシグナル

◇チャート上の
ダイヤモンド印は天井「売りシグナル」。
周期的天井を認識、
強気が弱気に転換と予想。

○チャート上の
丸印は底入れ「買いシグナル」。
周期的底を認識、
弱気が強気に転換すると予想。

先週は週初から買いシグナル点灯。

(中略)

今週の売りストップは1.3182。(買いストップは1.4586)

月足、週足、日足それぞれに圧倒的に精度の高い【シグナル点灯の有無】が記載されています。

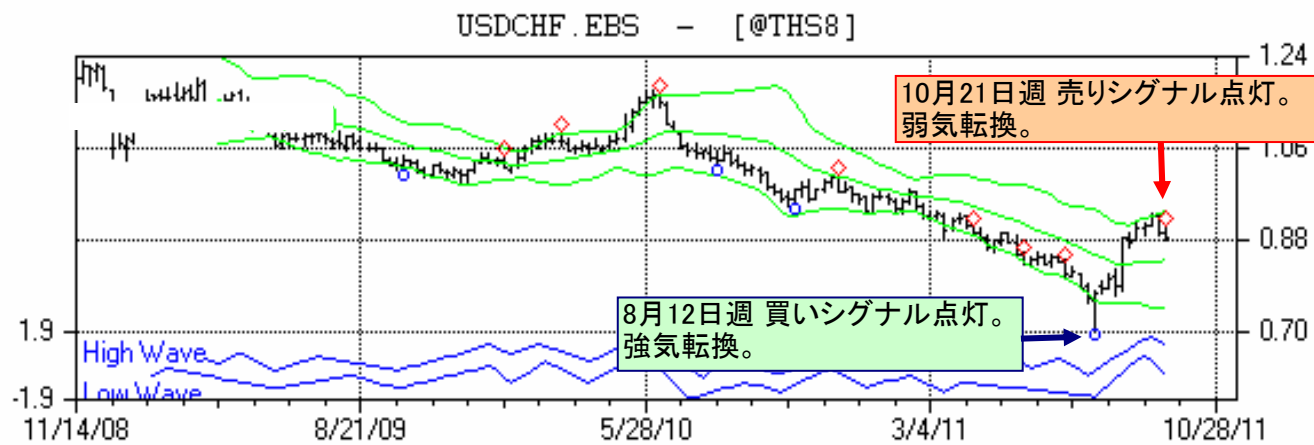
■ 損切り売買ストップ:

予想された売買シグナルが当たらなかった場合、損切り売買ストップは必要です。
あなたの損失を最小限にします。

損切りストップは下記のように提示されています。
売りポジションを持っている方は【買いストップ】を、買いポジションを持っている方は【売りストップ】を参考にできます。

ドルスイス: 0.8825 (0.8925) 先週末NY為替市場終値

(下図ドルスイス中期週足売買シグナル:)



- レポート解説、以上。
次のページからは配信されるレポートのサンプルです。

外国為替予想レポート(週刊)
Techni Hedge Forex : 11 Mar., 2013 (Mon.)
 Tanaka Currency Risk Management, vof.

先週は全面円安。ドル円と豪ドル円が今年の最高値を更新した。
 これに対し米ドル高。対円では豪ドル、ユーロ、カナダも高かった。
 先月2月足は対ポンド、カナダ、豪ドルでドル買い、ドル長期強気転換した。
 ドルインデックスも2月足が長期強気転換。

目次：

ドル円・長期予想：長期強気中。.....	3
ドル円・中期予想：中期強気転換。.....	4
ドル円・短期予想：短期強気中。.....	4
ユーロ円・長期予想：長期強気中。.....	5
ユーロ円・中期予想：中期強気転換。.....	6
ユーロ円・短期予想：短期強気中。.....	6
ユーロドル・長期予想：長期強気中。.....	7
ユーロドル・中期予想：中期弱気中。.....	8
ユーロドル・短期予想：短期強気中。.....	8
ドルインデックス：長期強気転換。中期強気中。.....	9
ポンド米ドル：長期弱気中。中期弱気中。.....	10
ポンド円：長期強気中。中期強気転換。.....	11
ユーロポンド：長期強気中。中期ニュートラル中。.....	12
ドルスイス：長期弱気中。中期強気中。.....	13
ユーロスイス予想：長期強気中。中期ニュートラル中。.....	14
スイス円予想：長期強気中。中期弱気中。.....	15
米ドルカナダドル：長期強気転換。中期ニュートラル中。.....	16
豪ドル/米ドル予想：長期弱気転換。中期強気転換。.....	17
豪ドル円：長期強気中。中期強気転換。.....	18
NY GOLD：長期弱気中。中期弱気中。.....	19

為替市場ハイライト：

外国為替市況、中長期概観と焦点：昨年8月以降、長期円安、ユーロ高、ドル安。
 今年に入り長期ドル買いが浮上中。

新年度1月から全通貨ボラティリティーが急騰。
 2月にはドル円、クロス円、ユーロドルが中期弱気に転換し一時調整したが、先週はドル円が中期強気に復帰して最高値更新、ドル円長期も強気を追認した。

今年に入り『長期ドル買い』に転じるシグナルとストップ到達が次の様に増加発生中。

ドル円3月足　　買いストップ到達、長期強気追認中（月末確定）<注目。
 ドルインデックス2月足　　買いブレークアウト発生、長期強気転換。
 ポンドドル2月足　　売りブレークアウト発生、長期弱気追認。

豪ドル米ドル2月足	売りシグナル点灯、売りブレークアウト発生、長期弱気転換。
ドルカナダ2月足	買いブレークアウト発生、長期強気転換。
ポンドドル1月足	売りストップ到達、長期弱気転換。
GOLD12月足	売りシグナル点灯、長期弱気転換。

昨日の市況と先週のシグナル・セレクション：大幅の全面ドル高。
ドル円が96円台に乗り上げた。

昨日金曜日は雇用統計の直後2分間でドル円急騰。ユーロドルも1時間で今週の上昇幅全てを失った。昨日は米ドル（とカナダドル）が全面高。円は全面安だった。
先週全体では円全面安。豪ドル、米ドル、ユーロ、カナダの順で対円上昇して上昇率2%台。

ドル円週足	買いブレークアウトにて中期強気転換。
ユーロ円週足	買いストップ到達、中期強気転換。
豪ドル米ドル週足	買いシグナル点灯、中期強気転換。
ポンド円週足	買いシグナル点灯、買いストップ到達、中期強気転換。
豪ドル円週足	買いブレークアウト発生、中期強気転換。

先週までの直近シグナル・セレクション：

ドル円3月足	買いストップ到達、長期強気追認中（月末確定）
ポンド円週足	買いシグナル点灯、中期強気転換。
ユーロ円日足	買いブレークアウト発生、短期強気追認（3月7日）
GOLD日足	買いシグナル点灯（3月7日）
ユーロポンド日足	買いシグナル点灯（3月4日）
ドル円日足	買いブレークアウト発生、買いシグナル点灯、短期強気転換（3月1日）

長期シグナル・セレクション：

ドル円3月足	買いストップ到達、長期強気追認中（月末確定）
--------	------------------------

昨年8～9月以降、円売り、ユーロ買い、ドル売り長期シグナルを観測してきたが、さらに2月には長期ドル買いを示唆するシグナルとストップ到達が次の様に発生した。

> 今年度2月新傾向：一部通貨に長期ドル買いが浮上中。

ドルインデックス2月足	買いストップ到達、長期強気転換。
ポンドドル2月足	売りストップ到達、長期弱気追認。
豪ドル米ドル2月足	売りシグナル点灯、長期弱気転換。
ドルカナダ2月足	買いストップ到達、長期強気転換。
GOLD2月足	売りストップ到達、長期弱気追認。

> 昨年度、円売り：円売りシグナル点灯ないしは売りストップにて長期弱気転換。

豪ドル円12月足買いストップ、ドル円10月足買いストップ、ユーロ円10月足買いシグナル、ユーロ円9月足買いストップ。カナダ円9月足買いシグナル、ポンド円9月足買いシグナル。

> 昨年度、ドル売り：米ドル売りシグナル点灯ないしは売りストップにて長期弱気転換。

豪ドル米ドル12月足買いストップ、ユーロドル9月足買いストップ、ポンドドル9月足買いシグナル、ドルスイス9月足売りシグナル、ドルカナダ9月足売りストップ、ドルインデックス8月足。

> 昨年度、ユーロ買い：買いシグナル点灯ないしは買いストップにて長期強気転換。

ユーロドル9月足買いストップ、ユーロポンド9月足買いシグナル、ユーロスイス8月足買いストップ、
ドルインデックス8月足売りストップ。

> ゴールドは弱い：
GOLD12月足 売りシグナル点灯、長期弱気転換。

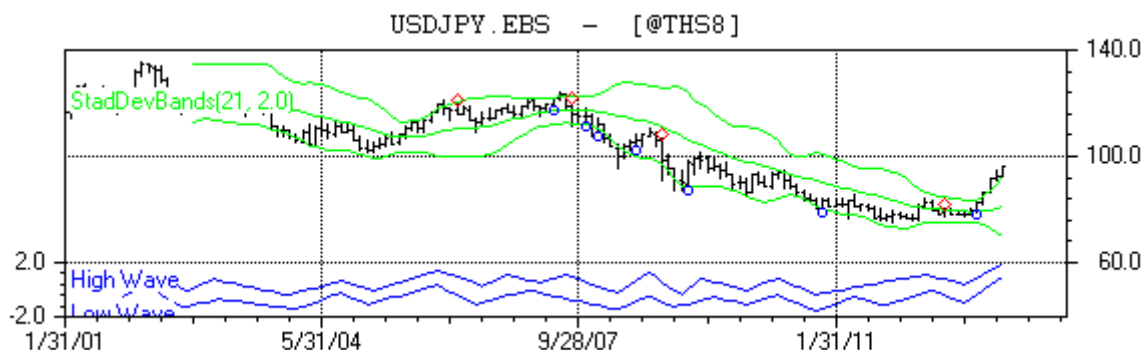
(お断り：本レポートでは逆張りの売買シグナルと順張りの売買ストップの両方で価格変動の方向性認識を管理しておりますが、チャートには逆張りの売買シグナルのみが表示されています。詳しくは末尾の解説を参照してください)

ドル円: 95.98 (93.60) 先週末 NY 為替市場終値

(本レポでは昨日とは先週金曜日、本日とは週明け月曜日をさします)

ドル円・長期予想：長期強気中。

(下図ドル円長期月足売買シグナル：)



長期月足2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。
10月79.40買いブレイクアウトより長期強気中。3月足は94.94買いストップに到達し、長期強気追認中(月末確定)。

記録破りの上昇特性で94.77円まで駆け上ったドル円は2月足が重たく調整風に小幅の上昇で引けた。この2月レンジの全ては2月25日だけで形成されたものである。乱高下の激しさを物語る。

このトラウマを抱えて始まった先週の3月足は週後半に上昇傾向が強まり、ドル高、円安、ユーロ安傾向が浮上していた。これが正しかったのだと止めを刺したのが金曜日の雇用統計。瞬間的なドル全面買いにドル円は急騰96円台に乗せた。

長期強気は有効。今年のピークは100円前後との見通しも変わり無し。ピークの時期であるが5月から9月かのどちらかになると推測。先週はこの見通しを強めるような展開だった。

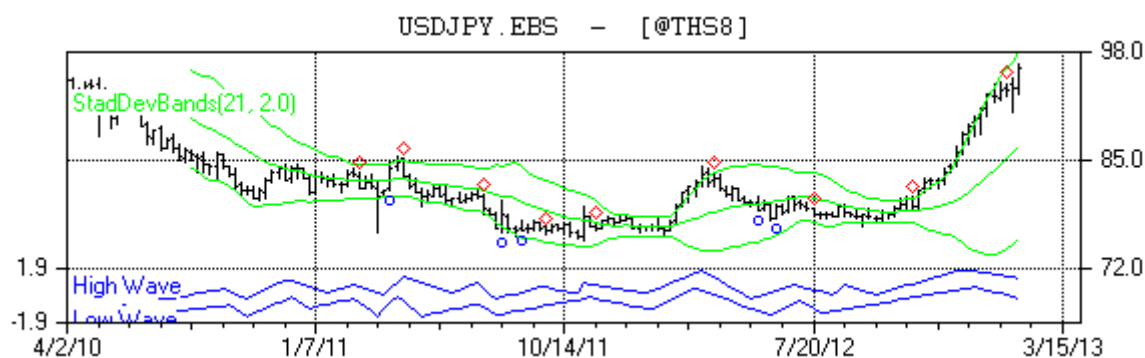
初期的な(2013年初頭現在)超長期予想(今後5年間)：

- 1) 2013年の長期ピークは100円近辺(+5円誤差)。
そこから一度10円程度の幅で大調整。
- 2) その調整底入れ水準からは長期強気に転じて100円まで急速に上昇。
- 3) その後減速して上昇し106円に到達。到達する時期は2015年から2016年頃。
- 4) 106円前後で大天井を付けその後3~5年間本格長期弱気。
次の長期大底は2018~2021の間。

3月の売りストップ90.16。(買いストップ94.94、既に到達)

ドル円・中期予想：中期強気転換。

(下図ドル円中期週足売買シグナル：)



先週はシグナル点灯なし。95.35買いブレイクアウト発生。

2月22日週93.43売りシグナルより中期弱気中だったが、先週3月8日週95.35買いブレイクアウトにて中期強気転換。

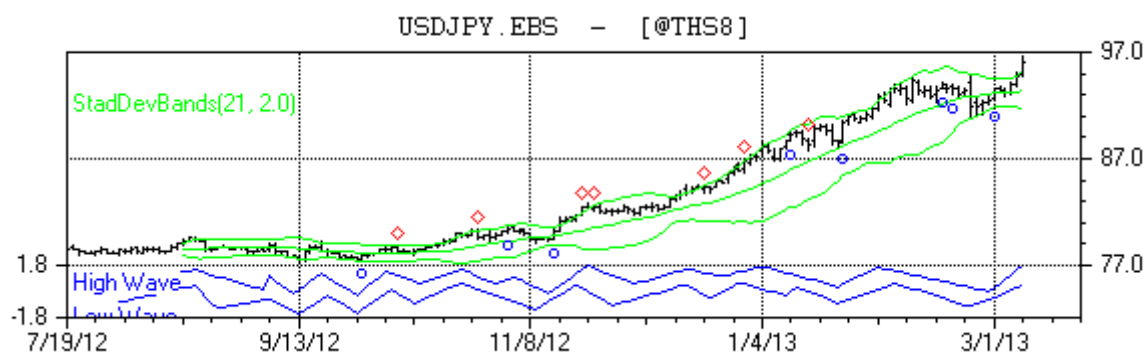
この2週間のドル円の上下動の激しさは凄まじく2週間前の驚がくの大暴落安値の90.85円から昨日雇用統計後の瞬間急騰96.60高値まで6円25銭のレンジ幅で乱高下した。結局は長期強気を追認したので長期的には問題が無いとも言えるが、短期中期の取引者にはトラウマの大きい相場だったようだ。2週間連続で相場がこれだけ上下に振れたのは大震災直後の2週間以来で、当時もレンジ系のオプションで顧客が壊滅し、ノックダウンしたFX証券会社があったが、今回も相当な傷を残したかもしれない。

先週は買いストップ到達して中期強気に復帰した。これだけ急騰すると翌週は高値を更新するものの小幅である事が多く、今週も大幅の続伸とはならないだろう。

今週の売りストップ91.61。(買いストップ99.20)

ドル円・短期予想：短期強気中。

(下図ドル円短期日足売買シグナル：)



3月1日93.12買いブレイクアウトおよび買いシグナル点灯より短期強気中。95.92買いブレイクアウト発生、短期強気追認。(デイリーレポートを読まない読者の為に、週報レポのみをベースに記録)。

昨日のドル円は『今夜の雇用統計などが切っ掛けとなるか、材料無しのテクニカル上昇で上る可能性』の続騰予想で始まり、雇用統計後の大急騰で決着が付いた。

また中期買いストップ95.35を切り上げ、中期週足観測も強気に転換した。

月足の買いストップ94.94には木曜日に到達し長期強気観測を追認中だった。

心理的に買い上げやすい条件が揃っていたわけである。

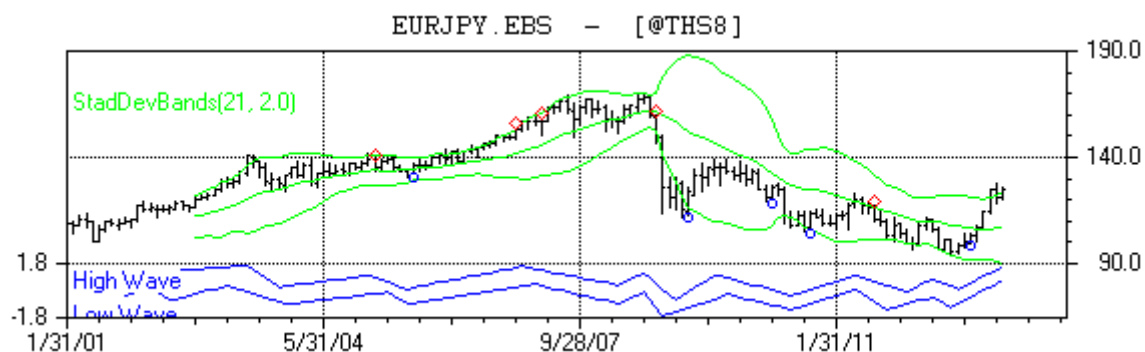
今週は高値更新はあると思われるが、ボラティリティーの急激な高騰に対する警戒感も有り、それ程大きく伸びる事は無いと推測。

金曜日は雇用統計までに充分上昇しており、統計発表後の急騰幅はその後利食いで打ち消され、引け値は雇用統計直前の水準だった。

ユーロ円: 124.77 (121.87) 週末 NY 為替市場終値

ユーロ円・長期予想：長期強気中。

(下図ユーロ円長期月足売買シグナル：)



2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。

9月102.81買いストップより長期強気中。

ユーロ円2月足は調整下落して終了。

1週間を経過した3月足は逆に上昇して2月の前月比下落分の全てを取り返した。2月足に対して3月足は孕み足を形成中。

月足に長期売りシグナルが点灯するのは早くても今後3ヶ月以降と推計。それまで長期強気は有効である。

2月は押し目買いのチャンスだったが回復の足が非常に速く、日足の買いシグナル以外には買いシグナルの点灯は無かった。ユーロ円中期週足には数週間以内に買いシグナル点灯の見込みであるが遅すぎるかもしれない。

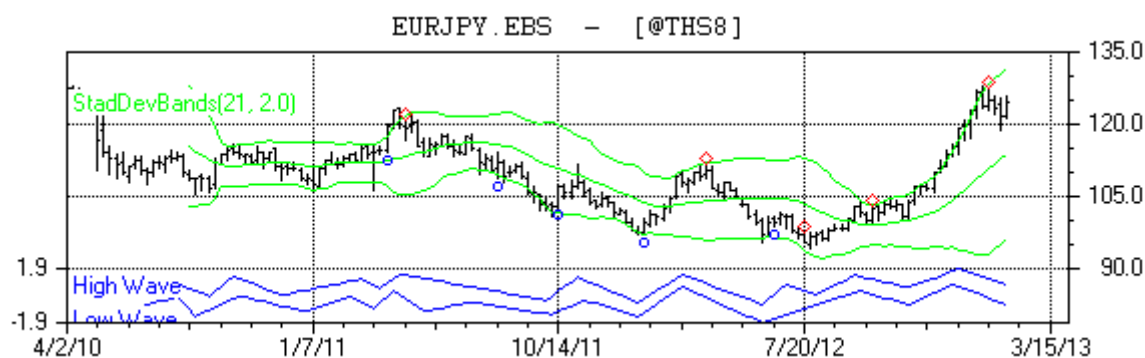
5年間の超長期予想：円安だけでなくユーロの長期的上昇との相乗効果でユーロ円は記録的に上昇する見通し。

- 1) ユーロ円は昨年7月に超長期大底を入れた。
- 2) 早ければ2015年頃に160円で大天井を付ける。
- 3) 遅ければ2017年頃に180円で大天井を付ける。
- 4) その後もユーロ高は2024年頃まで続くが、一方円は2015～17年頃から円高に転じるためにユーロ円は長期下落を始める。
通常ユーロの上昇率よりも円の円高上昇率のほうが上回るのが原因。

3月の売りストップ113.68 (買いストップ128.06)

ユーロ円・中期予想：中期強気転換。

(下図ユーロ円中期週足売買シグナル：)



先週はシグナル点灯なし。125.62買いストップ到達。2月15日週124.95売りシグナルより中期弱気中だったが、先週3月8日週125.62買いストップに到達し中期強気転換。

ユーロ円及びクロス円は概して大暴落が押し目と成る事が多いが、実際に最適な押し目買いを実行するのは実経験からも大変な技と熟練を要する。

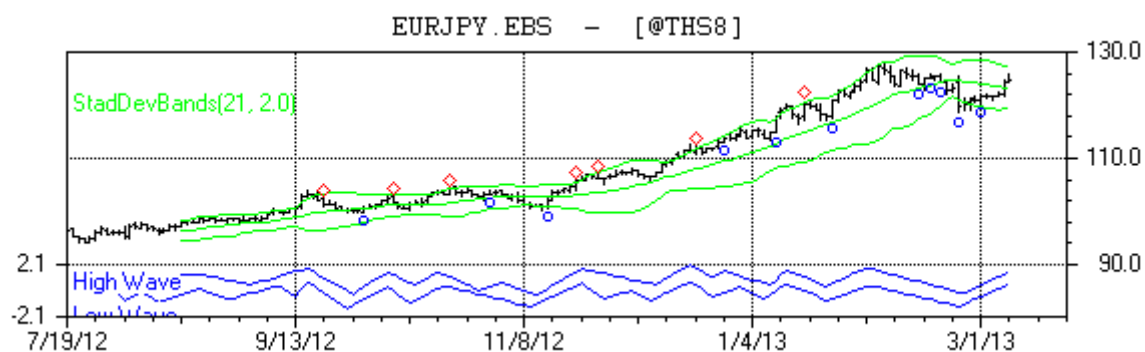
結局日足に買いシグナルが点灯したのみで、中期買いシグナルは先週点灯しなかった。下げるのも早かったが買い戻しの速度も異例に速かった。

先週は、ドル円が更に加速して上昇する反面、ユーロドルは全ての上昇幅を失って終了。ユーロ円は今週難しい相場になりそうである。

今週の売りストップ119.64。(買いストップ128.60)

ユーロ円・短期予想：短期強気中。

(下図ユーロ円短期日足売買シグナル：)



2月25日119.97買いシグナルより短期強気中。

ユーロ円日足は25日の日足大暴落が買いシグナル。その後も一度買いシグナルが点灯して強気中である。先週は木曜日にドル円とユーロドルの上昇が有り、ユーロ円は急騰した。

しかし金曜日は全く異なり、ドル円は続騰したが、ユーロドルは暴落。

結局ユーロ円も当日上昇の大部分を帳消しにして終了した。

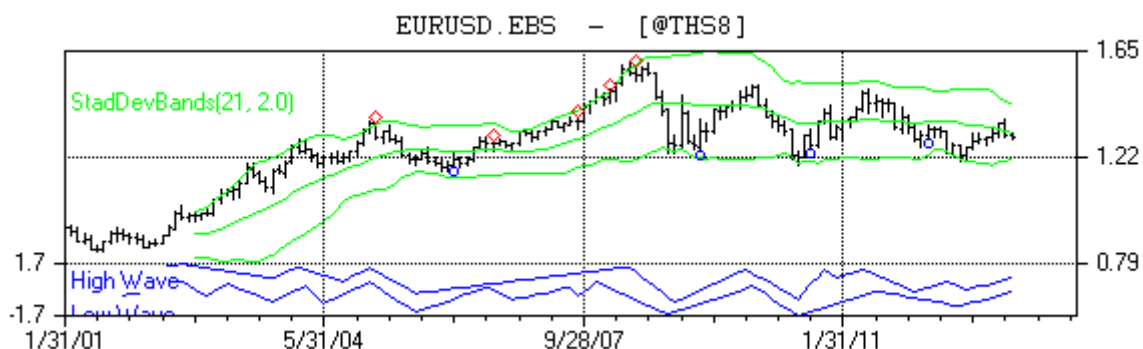
円安相場と言うよりはドル全面高相場に付随する円安相場だった。

この先も非常に分かり難いユーロの上下の影響が大きく、ユーロ円は少し難しくなりそうである。

ユーロドル: 1.3005 (1.3021) 先週末 NY 為替市場終値
--

ユーロドル・長期予想：長期強気中。

(下図ユーロドル長期月足売買シグナル：)



長期月足 2 月はシグナル点灯なし。ブレイクアウト無し。
9 月 1.3034 買いストップより長期強気中。

ユーロドル 2 月足は寄り付きの 1 日が最高値となりその後は下げ続けて 1 月上昇幅の大半を失って、2 月レンジの安値寄りに引けた。レンジは拡大足となり 1 月高値を切り上げ後、1 月安値を切り下げてそこで終了した。

始まって 6 営業日の 3 月足は先週金曜日の日足拡大レンジ 1 日そのまま 3 月足を形成。雇用統計に絡む金曜日の暴落は確かに強烈な印象を残した。僅かながら今年の最安値を更新しそこで先週は終了。

先週は特にドル全面高が鮮明に浮上。これは 2 月終了時に指摘した最新傾向だった。

下落で始まった 3 月足は直ちに上昇を開始しないと、本格的な押し目形成になるだろう。

2 月にはポンド、豪ドル、カナダが対米ドルで長期弱気に転換した。ドルインデックスも長期強気転換した。

ユーロドルは長期上昇して半年くらいで一度本格的に調整する事例が多い。今がその時期に当たる。

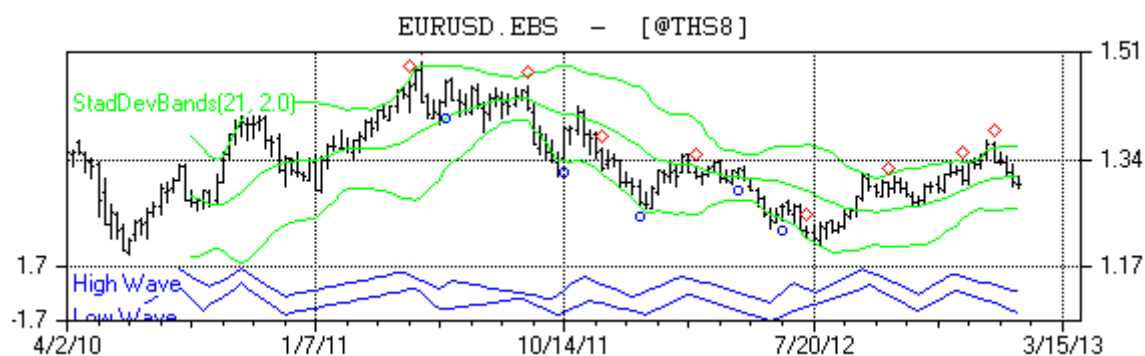
2024 年までの超長期予想：

- 1) ユーロドルは超長期の底入れをした可能性が高いがドル円やユーロドルほど明瞭ではない。
- 2) 控えめな分析では 2024 年頃までかけて 1.7500 ドル近辺で歴史的周期大天井を付ける。
- 3) 楽観的な分析では 2024 年頃に 2.0000 ドル近辺で歴史的周期大天井を付ける。
- 4) そこに至るまでは乱高下気味の激しい上下動を伴い、長期強気観が一時的に後退してしまうこともありうる。にもかかわらず基本的なユーロ長期強気が変わると言う事は無いだろう。

3 月の売りストップ 1.2366。(買いストップ 1.3744)

ユーロドル・中期予想：中期弱気中。

(下図ユーロドル中期週足売買シグナル：)



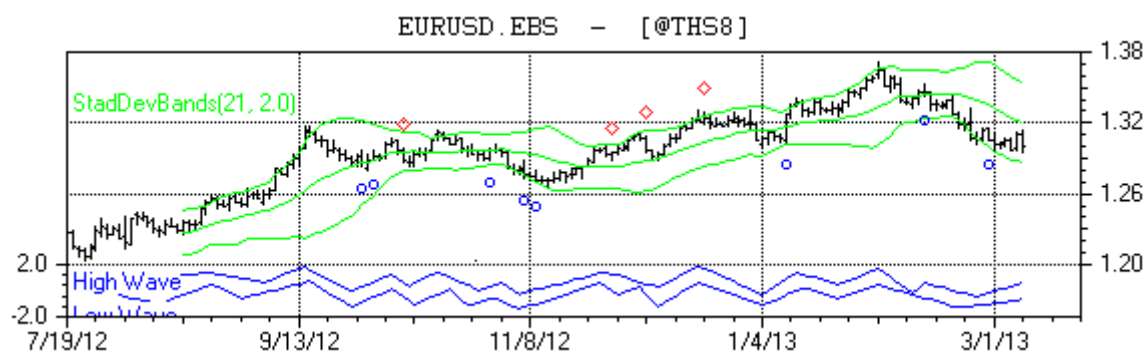
先週はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。
2月8日週1.3367売りシグナルより中期弱気中。

先週のユーロドル週足は前週比あまり変わらず終了。レンジ水準は下落だった。
先週全レンジは金曜日1日で形成されたものである。つまり米雇用統計後の全面ドル買いに因るユーロノックダウンだった。
今週の日足は非常に難しい展開となろう。週足チャート(上図)の移動平均割り込みがかなり負担となっており、この先の大目標は11月16日週1.2661最安値である。
しかし筆者の観測では1.29に強いサポートの可能性があり、1.26台到達は難しいかもしれない。
また既に底入れ分岐圏に到達しており、上昇すれば中期買いシグナルも点灯しやすい。
底入れかセルオフか、重要な分かれ道を形成中である。

今週の買いストップ 1.3141。(売りストップ 1.2869)

ユーロドル・短期予想：短期強気中。

(下図ユーロドル短期日足売買シグナル：)



2月28日1.3055買いシグナル点灯より短期強気中。

先週のユーロドル日足は連日先広がりの拡大乱高下の連続だった。ユーロに対する市場の迷いがそのまま顕わになった週だった。

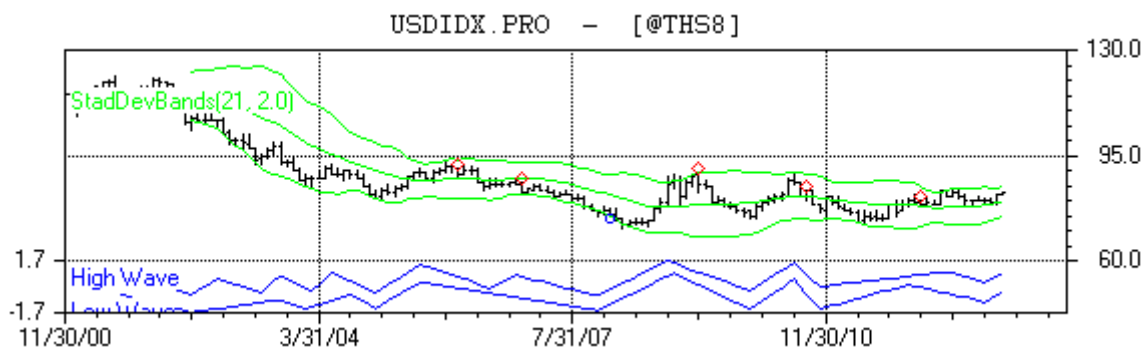
今週初は雇用統計の折り込みが無かったアジア時間での再度の安値更新にはなりやすく、その後の反発力を見極めるような展開だろう。

ユーロは対米ドルとカナダドルでオカシイ事になっているが、その他のユーロクロスでは先週は概して好調だった。全面的に調整明けしたのではないかと思わせる展開だった。対ドルでセルオフするには全てのユーロクロスに変調が現れる方が理解しやすい。
ユーロドルに関しては、『短期反騰が失敗するかもしれないとの危惧』があった。難しい相場になりそうだ。

ドルインデックス: 82.69 (82.31) 先週末終値

ドルインデックス: 長期強気転換。中期強気中。

(下図ドルインデックス長期月足売買シグナル)



長期月足2月はシグナル点灯なし。81.18買いブレイクアウト発生。8月81.09売りストップより長期弱気中だったが、先月2月81.18買いブレイクアウトにて長期強気転換。中期週足は2月22日週81.36買いブレイクアウトより中期強気中。

ドルインデックス2月足は半年振りに長期横ばいレンジを上抜いて長期強気に転換した。この意味については先週号のレポートで『現時点では一部の通貨に対する強気を示唆しており、ドル全面強気を意味するものでは無さそうだ』という見解を述べたが、少なくとも先週の市況に限ってはこのコメントは適切ではなく、『全面ドル高』だった。3月足、及び先週の週足は急騰。米ドルは全面高となった。

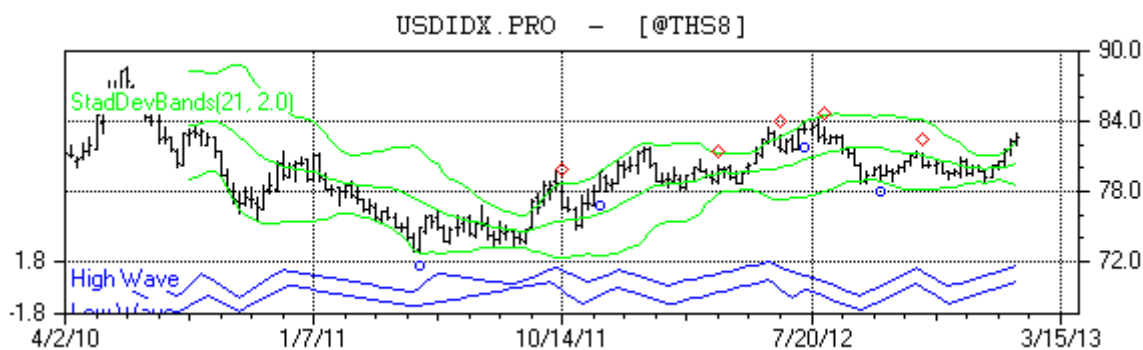
先週は豪ドルとカナダが米ドルと連動して上昇率トップクラス。特に対円での変動率が高く3通貨共に2%台に乗せた。

2月に突然浮上したこの全面ドル高。全面円安と並んで現為替史上最大のテーマであり、3月最大の焦点である。ドルインデックスは加重平均によって計算される指数であるがボラティリティーが低めで穏やかな上、少しわかりやすいのが特徴。

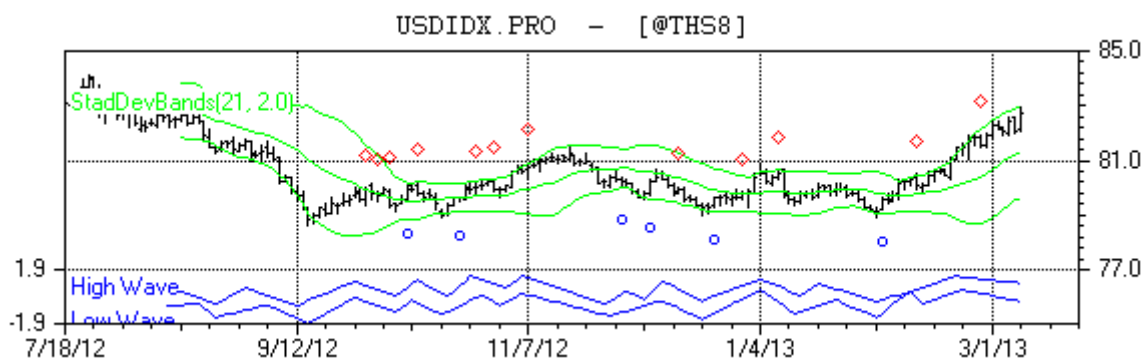
今週の売りストップ 81.86。(買いストップ 83.54)

3月の売りストップ 79.37。(買いストップ 84.53)

(下図ドルインデックス中期週足売買シグナル)



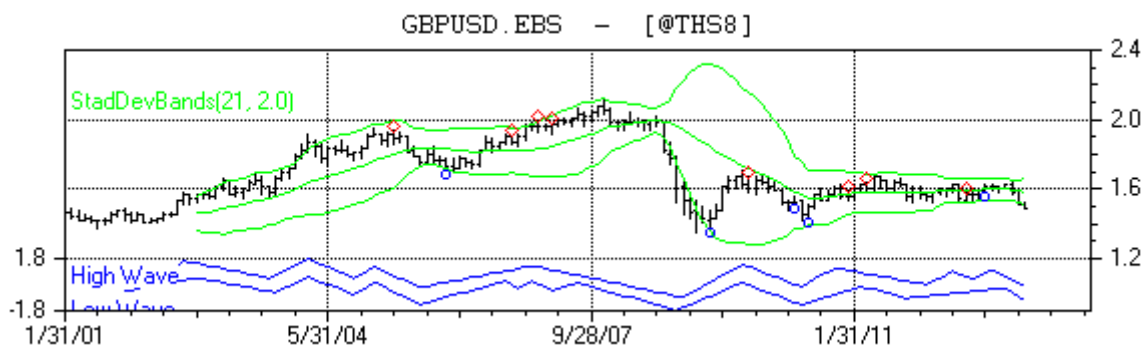
(下図ドルインデックス短期日足平均レンジ)



ポンド米ドル: 1.4915 (1.5040) 先週末 NY 為替市場終値

ポンド米ドル: 長期弱気中。中期弱気中。

(下図ポンドドル長期月足売買シグナル:)



長期月足2月はシグナル点灯なし。1月 1.5728 売りストップより長期弱気中。先月2月 1.5190 売りブレイクアウト発生、長期弱気追認。

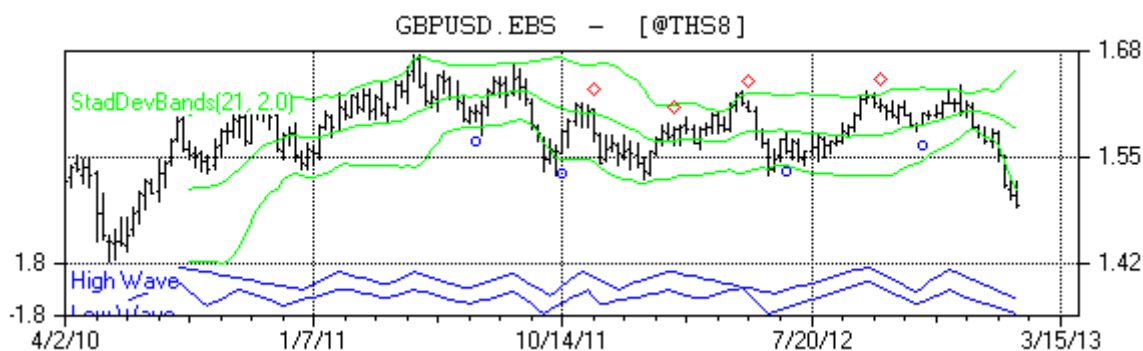
中期週足は1月18日週 1.5867 売りブレイクアウトより中期弱気中。

2月に最も変動したのはポンドで対円と対ドルで大幅に下落して変動率トップだった。ケーブルの2月足は過去4年間での最大級の下落率だった。3月足に入り、第一目標 1.4950 を先週達成した。先週のポンド下落は大きく減速。長期的な重大分岐点が 1.5 近辺にあり、ここで下げ止るか、もし下げ止まらなければ更に3ヶ月掛けて 1.4 を目指す分かれ道で有ると認識。今回のポンド暴落の直進性は週足で計測しても月足で計測しても過去3~4年間の最大であり、1.5 分岐点から反騰するのではなく、下落を継続するとの見方を強めている。過去の事例を調べてみたがこれほど下げてしまうと下げ止るといふよりまだ数ヶ月続落する例のほうが遥かに多かった。ポンドは周期底に到達したのではなく、恐らく底抜け中である。

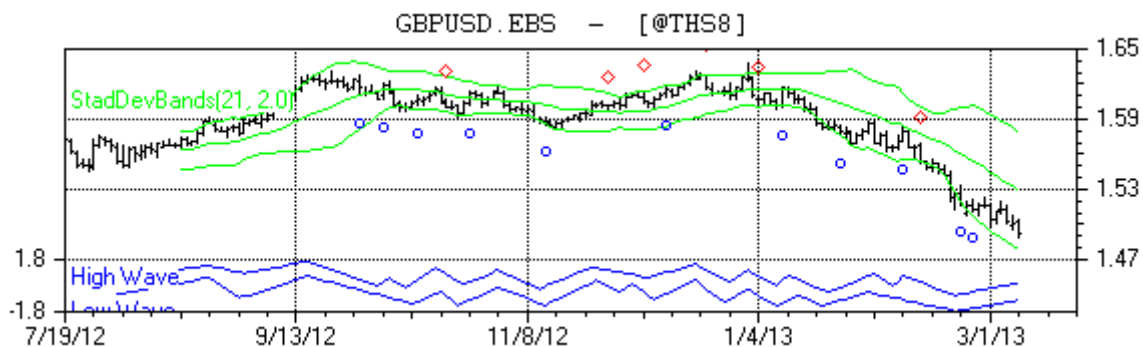
今週の買いストップ 1.5214。(売りストップ 1.4616)

3月の買いストップ 1.5915。(売りストップ 1.4415)

(下図ポンドドル中期週足売買シグナル:)



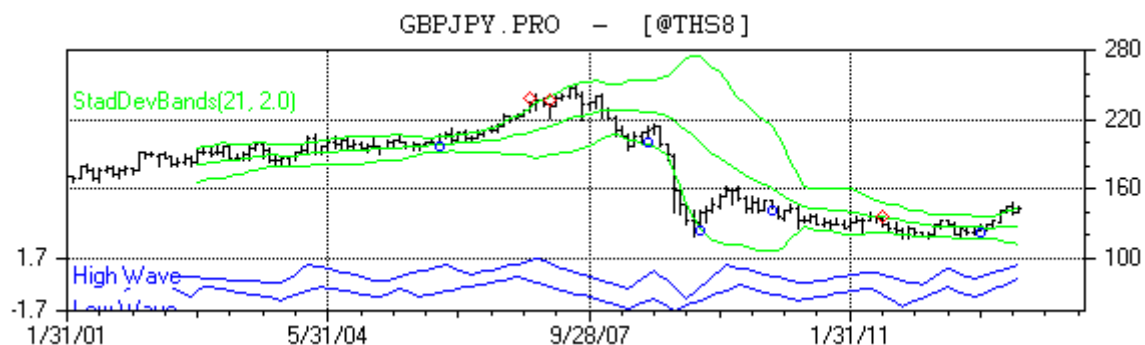
(下図ポンドドル短期日足売買シグナル:)



ポンド円: 143.27 (140.70) 先週末 NY 為替市場終値

ポンド円: 長期強気中。中期強気転換。

(下図ポンド円長期月足売買シグナル:)

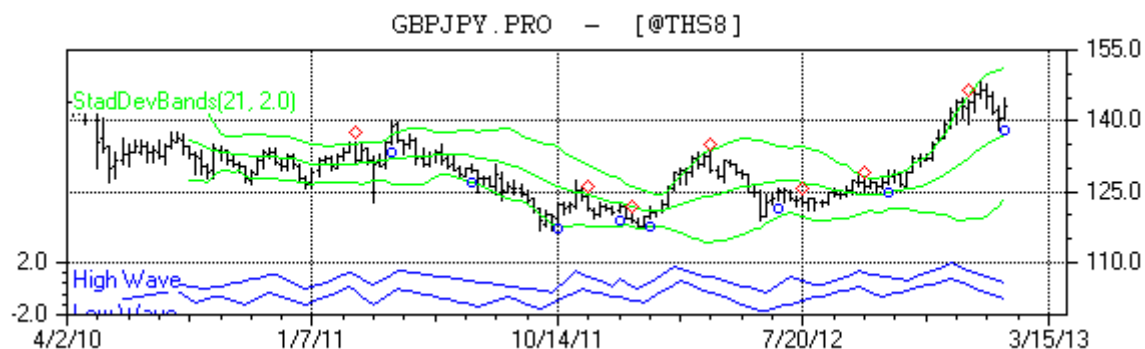


長期月足2月シグナル点灯なし。ブレークアウトなし。9月125.68買いシグナル点灯と買いストップより長期強気中。中期週足は2月22日週141.82売りストップより中期弱気中だったが、先週3月8日週買いシグナル点灯および143.67買いストップ到達にて中期強気転換。

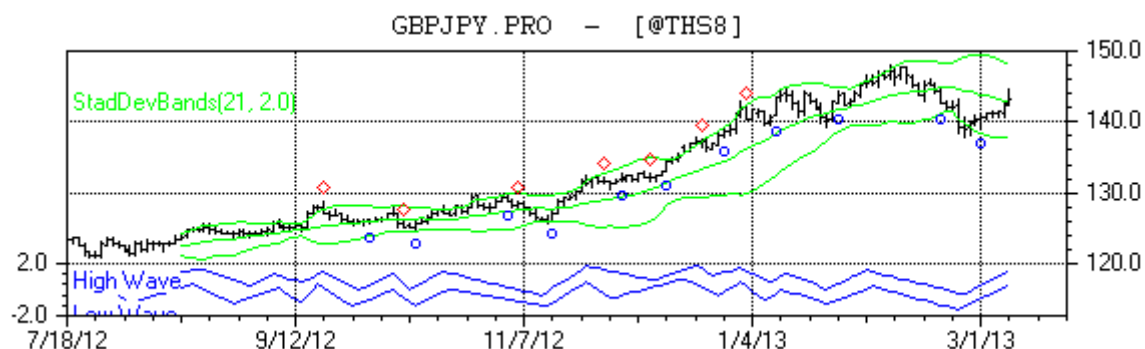
ポンド円2月足は1月足の安値を割り込んだ後、少し買い戻されて終了した。3月足最初の6営業日は急騰したが、高値更新には遥か遠く及ばず。ポンド円のロングは魅力的でないことは何度も指摘してきたとおりである。直近最高値を更新したドル円とは異なり時間を掛けて最高値更新に向かう見込みである。ユーロ円よりも足がゆっくりしているので、『139円の前半が押し目買い』との戦略は成功した。また買いシグナルも上手く点灯した。先週の上昇率はポンド円が1%台。ドル円やユーロ円は2%円台だった。まだポンド円はクロス円中では遅い方に属する。

今週の売りストップ138.76。(買いストップ147.79)
3月の売りストップ132.64。(買いストップ148.38)

(下図ポンド円中期週足売買シグナル:)



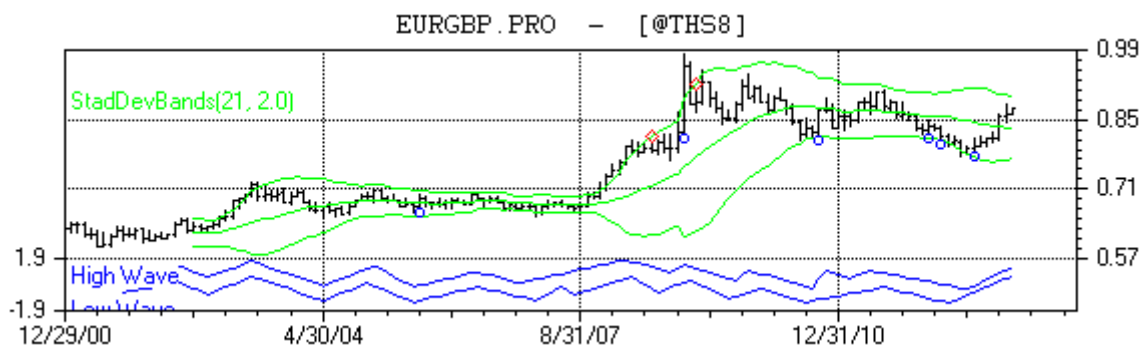
(下図ポンド円短期日足売買シグナル:)



ユーロポンド： 0.8709 (0.8658) 先週末 NY 為替市場終値

ユーロポンド：長期強気中。中期ニュートラル中。

(下図ユーロポンド長期月足売買シグナル：)



長期月足2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。9月0.7927 買いシグナル点灯と買いストップ到達より長期強気中。

中期週足は3月1日週に両打ちが発生し0.8658より中期ニュートラル中。

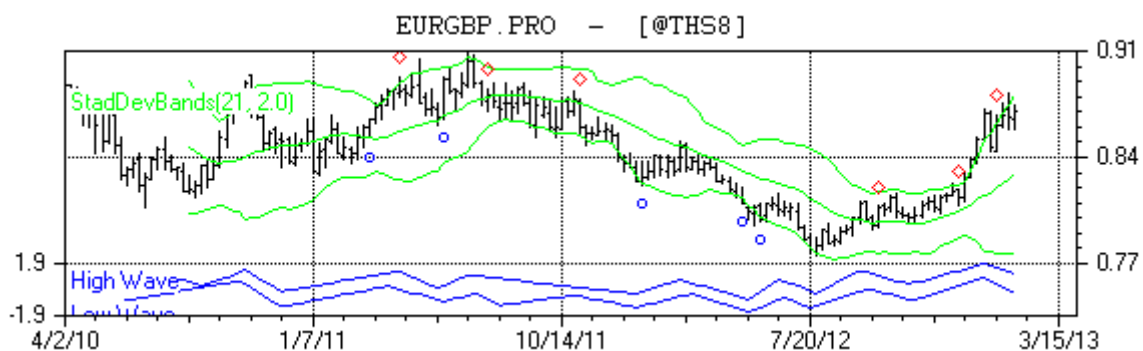
ユーロポンド2月足は1月の急騰後、2月は突然の大乱高下に見舞われ、上下両方向に大きく振れた挙句レンジ中央にて引けた。ユーロ安とポンド安が異なるタイミングで大きく浮上したからである。ユーロも弱かったがポンドがそれを上回って弱い印象が強く、引け値は僅かに前月比上昇。3月足も乱高下が続く最中先週は少し上昇して終了。レンジは孕み足。

週足も前週比で孕み足。第一の長期目標0.88は既に達成した。次の長期高値目標は「0.89~0.90」。中期的なアプローチでの収益達成は非常に難しくなっている。この先信頼できる中期トレンドはどちらの方向にも発生しにくいだろう。

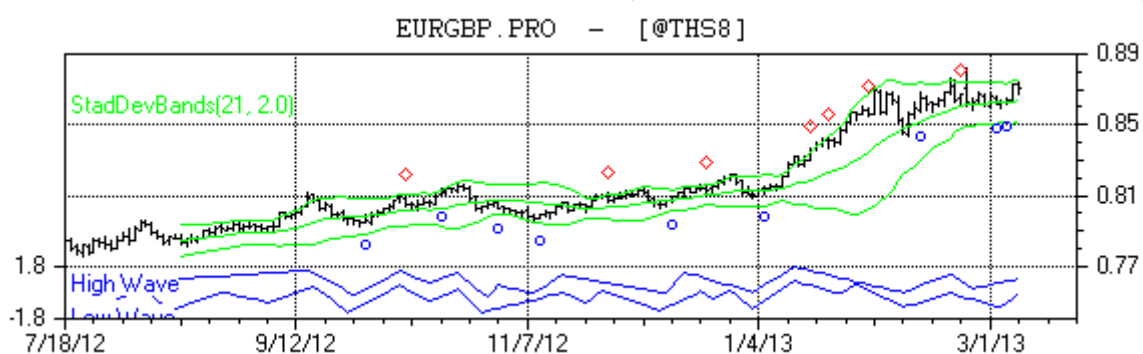
今週の買いストップ0.8834。売りストップ0.8559。先に到達した方を採用。

3月の売りストップ0.8165。(買いストップ0.9066)

(下図ユーロポンド中期週足買シグナル：)



(下図ユーロポンド短期日足売買シグナル：)



ドルスイス: 0.9517 (0.9426) 先週末 NY 為替市場終値

ドルスイス: 長期弱気中。中期強気中。

(下図ドルスイス長期月足売買シグナル:)



ドルスイス長期月足2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。9月0.9534 売りシグナルより長期弱気中。

中期週足は2月22日週0.9297 買いシグナルより中期強気中。先週3月1日0.9437 買いストップ到達、中期強気追認。

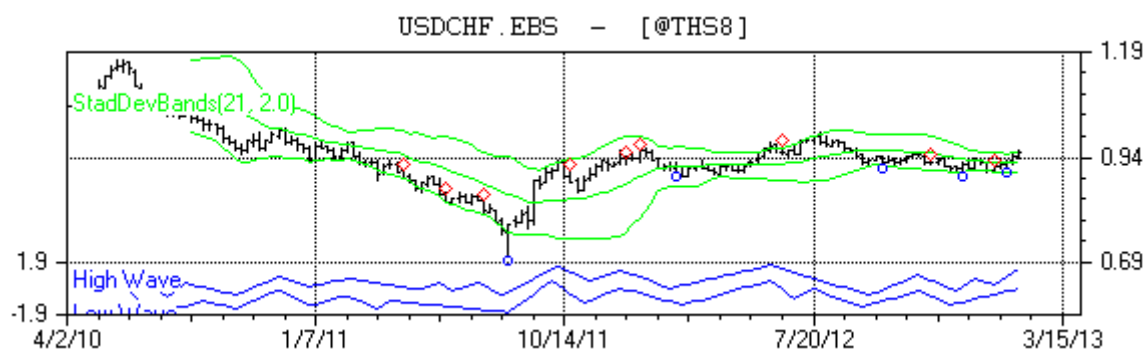
ドルスイス2月足は7ヶ月ぶりに前月比上昇して引けた。同時にドルインデックス2月足にも長期買いシグナルが点灯した。3月に入りドルスイスは直近3ヶ月の最高値を更新して上方ブレイクを開始した。当初考えていたよりも全面的なドル買いが全主要ドルストレートで発生中との認識に変わった。

中期週足は5週間連続で続騰した。中期強気認識は有効ながら周期的天井候補圏に突入中。日足も売りシグナルを3回切り上げてトレンド中。そろそろ目先クライマックス急騰か。

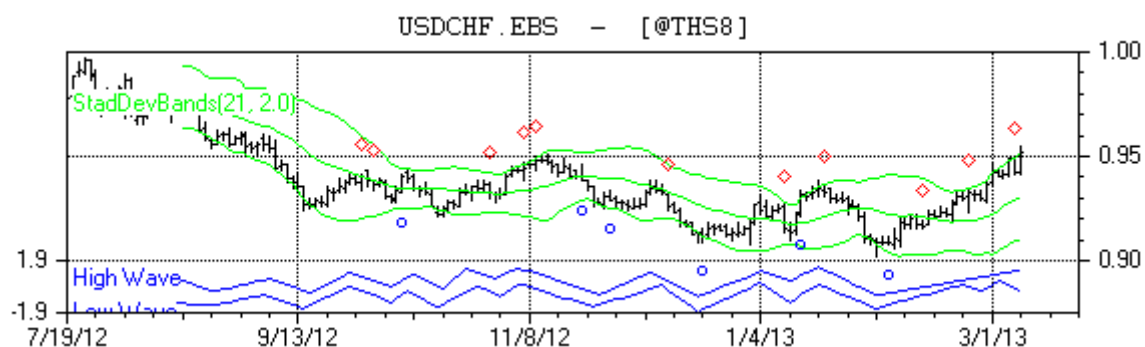
今週の売りストップ0.9387。(買いストップ0.9647)

3月の買いストップ0.9727。(売りストップ0.9007)

(下図ドルスイス中期週足売買シグナル:)



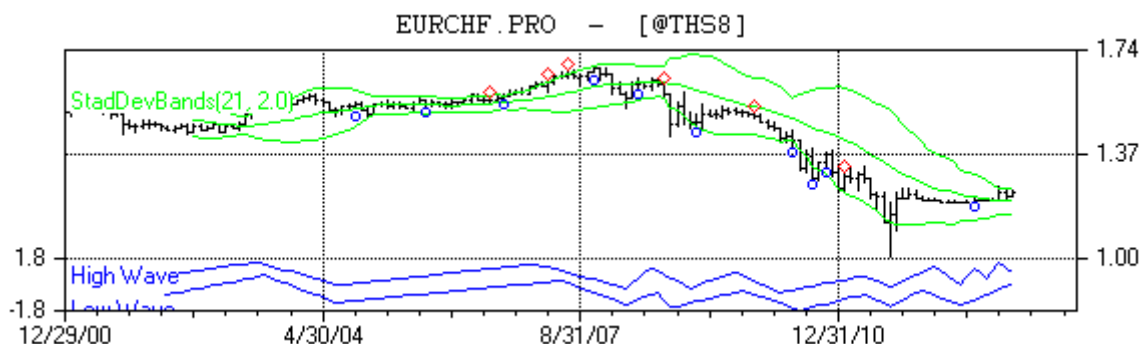
(下図ドルスイス短期日足売買シグナル)



ユーロスイス: 1.2370 (1.2288) 先週末 NY 為替市場終値

ユーロスイス予想: 長期強気中。中期ニュートラル中。

(下図ユーロスイス長期月足売買シグナル:)



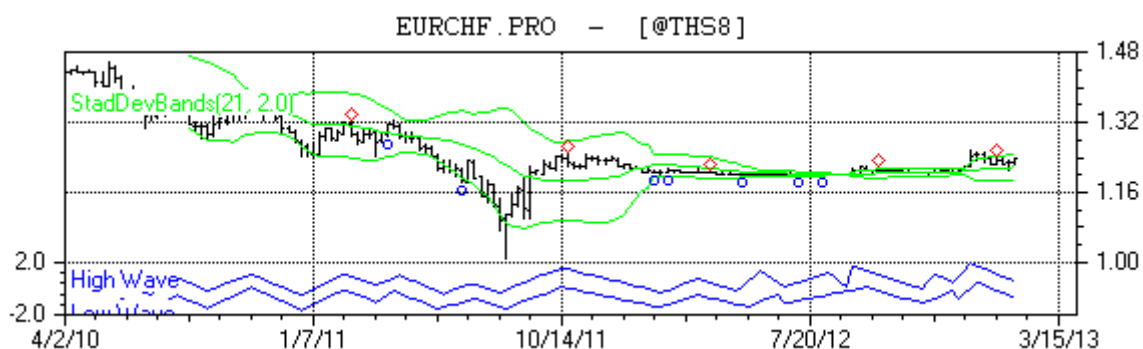
長期月足2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。8月1.2040 買いストップより長期強気中。

中期週足は2月15日週1.2323 売りシグナル点灯および1.2321 買いストップより中期ニュートラル中。

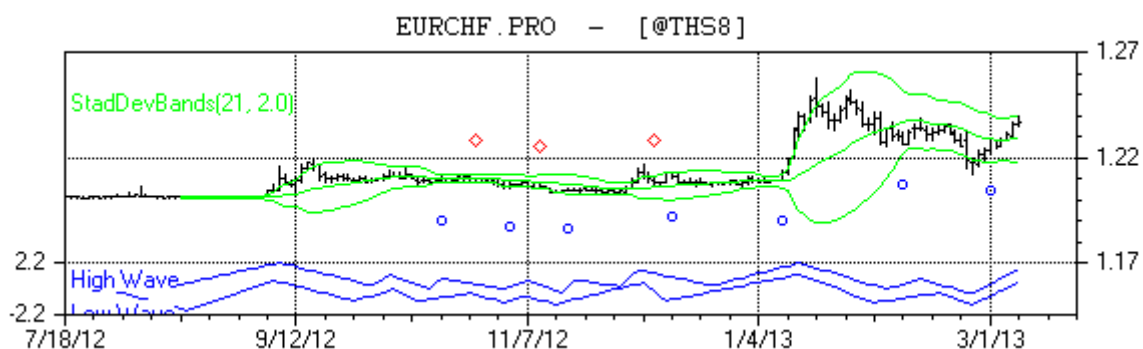
ユーロスイス長期2月足は急騰した1月レンジの中で孕み足。安値寄りに終了した。続騰すれば面白い相場になったのだが、一時1.21 台まで下落。そこは押し目買いのチャンスだった。3月足は日足が小幅に着実に連騰。週足は下落トレンドラインを破って反転上昇。買いストップには届かなかったが、日足の直進性から見て、この上昇傾向には持続性があると判定。実質強気転換したと見なして良いだろう。

今週の買いストップ1.2482。売りストップ1.2133。(先に到達した方を採用)
3月の売りストップ1.1941。(買いストップ1.2522)

(下図ユーロスイス中期週足売買シグナル:)



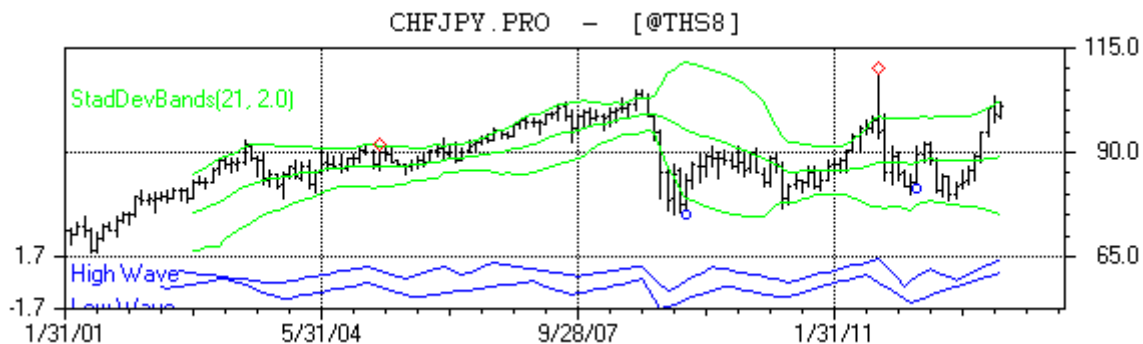
(下図ユーロスイス短期日足売買シグナル:)



スイス円: 100.82 (99.11) 先週末 NY 為替市場終値

スイス円予想: 長期強気中。中期弱気中。

(下図スイス円長期月足売買シグナル:)



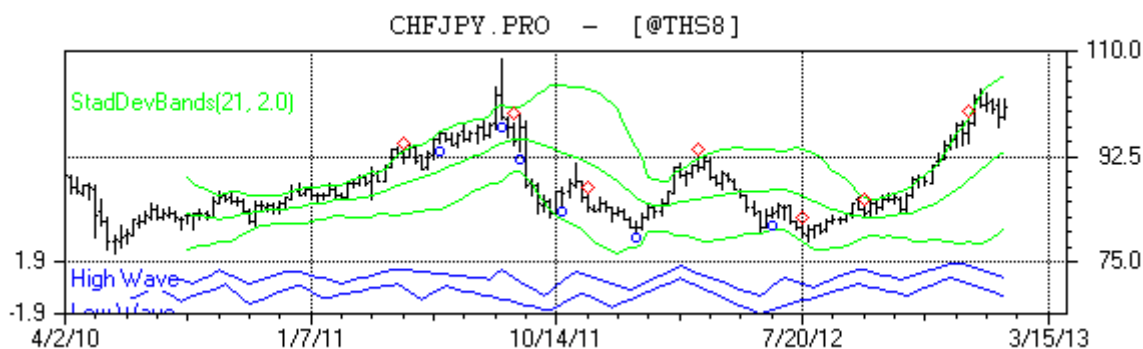
長期月足2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。9月 85.16 買いストップより長期強気中。中期週足は3月1日週 98.00 売りストップ到達より中期弱気中。

スイス円2月足は第一の長期目標を達成したように見える(上図月足)。長期目標は104円。先週の3月足は木曜と金曜に突然動き出し急騰。ただし週足は孕み足で前週高値の更新ならず。弱気認識のままで終了した。

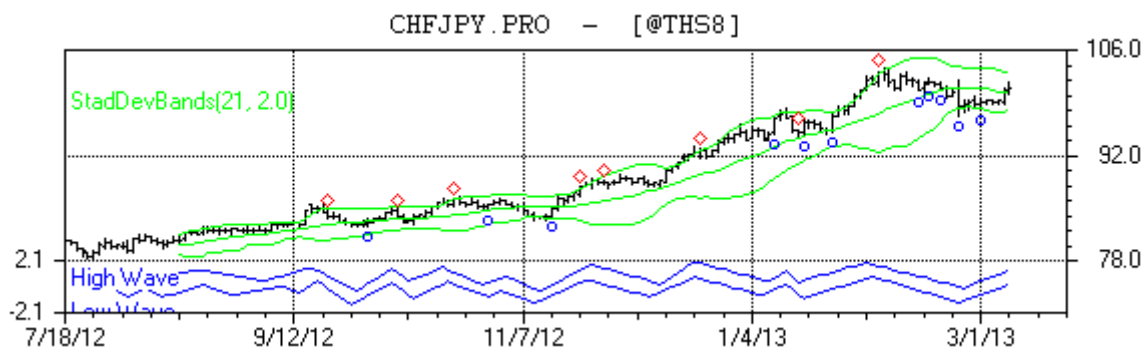
今週の買いストップ 103.00。(売りストップ 98.64)

3月の売りストップ 93.23。(買いストップ 104.56)

(下図スイス円中期週足売買シグナル:)



(下図スイス円短期日足売買シグナル:)



米ドルカナダドル: 1.0283 (1.0265) 先週末 NY 為替市場終値

米ドルカナダドル: 長期強気転換。中期ニュートラル中。

(下図米ドルカナダドル長期月足売買シグナル)



長期月足2月はシグナル点灯なし。1.0279 買いブレイクアウト発生。9月 0.9634 売りストップより長期弱気中だったが、先月2月 1.0279 買いブレイクアウトにて長期強気転換した。中期週足は2月22日週売りシグナル点灯と 1.0182 買いブレイクアウトよりニュートラル中。

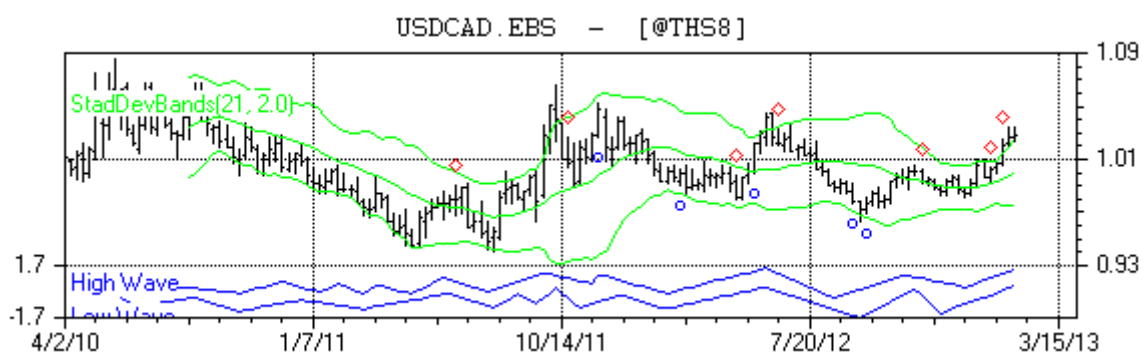
本レポは数週間前から、ポンド、カナダ、豪ドル3通貨の対ドル下落を「最大注目点」と指定していた。ドルカナダ2月足は9ヵ月ぶりに大幅上昇して長期買いストップに到達し、長期強気転換 (= カナダ弱気) した。ただしドルカナダ月足は1本の急騰陽線がその後持続的な上昇に繋がる事が殆ど無く、数ヶ月以内に押し戻されるのが普通である。過去10年間これ以外のパターンが殆ど出現していない。持続的に数ヶ月の月足陽線が出ない限り、本格的な強気相場は始まらないだろう。

3月足は上記の予想通り上昇停止。前月比僅かに下落して終了。先週の週足は孕み足にて終了。やはり上昇停止した。ニュートラル認識は有効である。先週は米ドルが強く注目されたが、この米ドルにピタリと連動した (= 動かなかった) のがカナダと豪ドルである。そのせいでカナダの対円上昇率は先週の為替市場ではトップクラスだった。

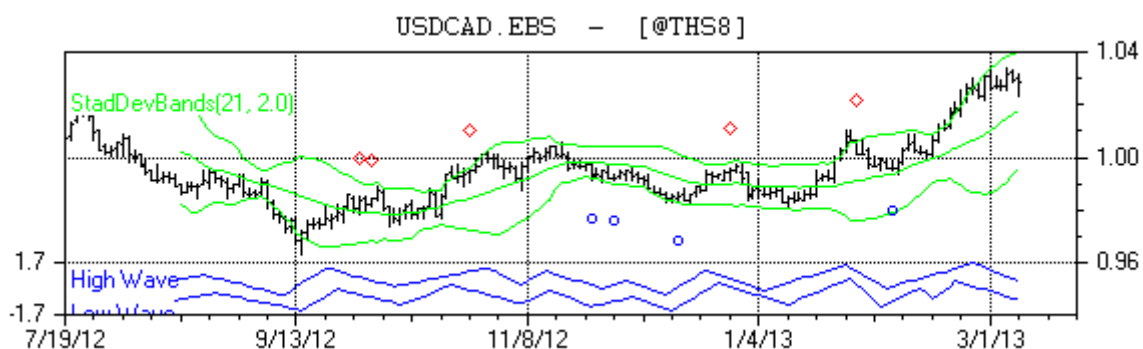
今週の売りストップ 1.0217。買いストップ 1.0349。先に到達した方が次の方向となる。

3月の売りストップ 0.9913。(買いストップ 1.0703)

(下図米ドルカナダドル中期週足売買シグナル:)



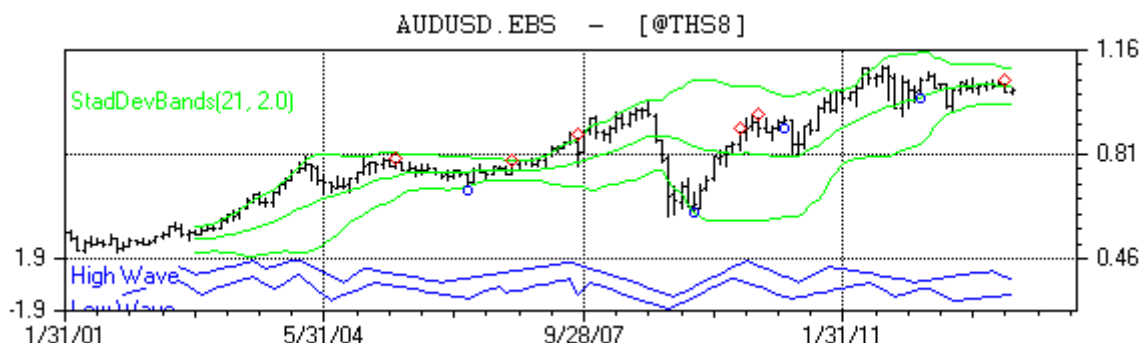
(下図米ドルカナダドル短期日足売買シグナル:)



豪ドル/米ドル: 1.0237 (1.0202) 先週末 NY 為替市場終値

豪ドル/米ドル予想: 長期弱気転換。中期強気転換。

(下図豪ドル米ドル長期月足売買シグナル :)



長期月足 2月は売りシグナル点灯。1.0231 売りブレイクアウト発生。12月 1.0543 買いストップより長期強気中だったが、先月 2月、1.0231 売りブレイクアウトおよび売りシグナル点灯にて長期弱気転換。

中期週足は 1月 25日週 1.0416 売りストップ到達より中期弱気中だったが、先週 3月 8日週 1.0237 買いシグナル点灯にて中期強気転換。

2月は豪ドル、カナダ、ポンドが揃って対ドルで弱く要注意だった。豪ドルも 8ヶ月横ばいレンジの最安値領域まで大幅に下落し、その上長期売りシグナルまで点灯した。次のブレイクダウン分岐点である安値目標 10月安値 1.0150 までは目と鼻の先。

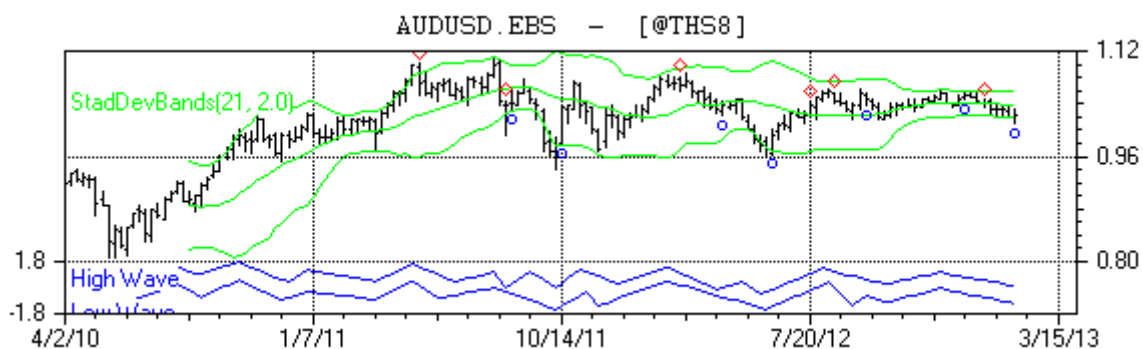
3月足は予想通り『1.0150 を下抜けて』始まった。

中期観測はその逆で売られすぎの安値から反発して前週比上昇。先週は米ドルが強く、それよりも強い豪ドルは全通貨中最も強い通貨となった。中期週足には中期買いシグナルが点灯。月足の売りシグナルと週足の買いシグナルで目先は強弱サンドイッチ市況で乱高下だろう。今後も豪ドルと米ドルは他通貨に対しては連動するという事である。

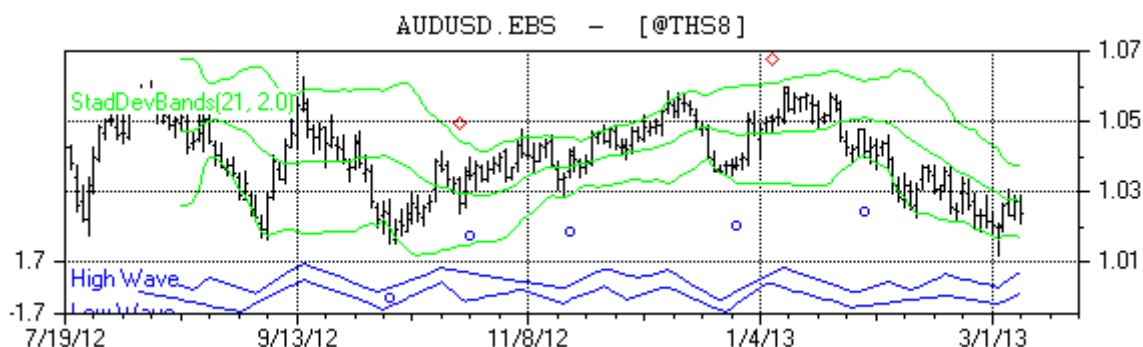
今週の売りストップ 1.0110。(買いストップ 1.0364)

3月の買いストップ 1.0542。(売りストップ 0.9892)

(下図豪ドル米ドル中期週足売買シグナル :)



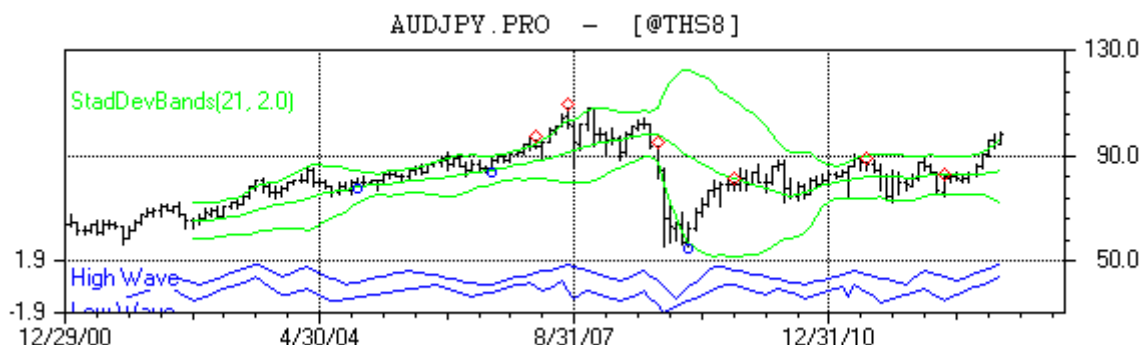
(下図豪ドル米ドル短期日足売買シグナル :)



豪ドル円: 98.25 (95.45) 先週末 NY 為替市場終値

豪ドル円: 長期強気中。中期強気転換。

(下図豪州ドル円長期月足売買シグナル)



長期月足 2月はシグナル点灯なし。ブレイクアウトなし。2012年12月88.98買いストップより長期強気中。

中期週足は 2月 1日週中期売りシグナル96.46より中期弱気中だったが、先週 3月 8日週98.04にて買いブレイクアウト発生、中期強気転換。

豪ドル円は先週好調で上昇率は全通貨ペア中のトップだった。今年の最高値を大幅に更新した。豪ドル円の長期予想を調整更新。「目先の壁を100円」としていたが、「103円台」に変更。

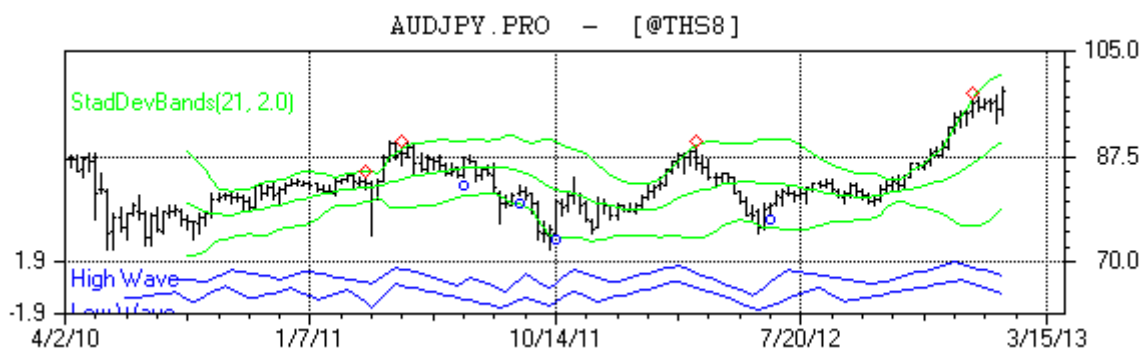
長期予想は次の通り (2013年 3月更新)。

- 1) 目先の壁が103円。
- 2) 今年の最高値は106~108円。その後、数年内に120円には到達するだろう。

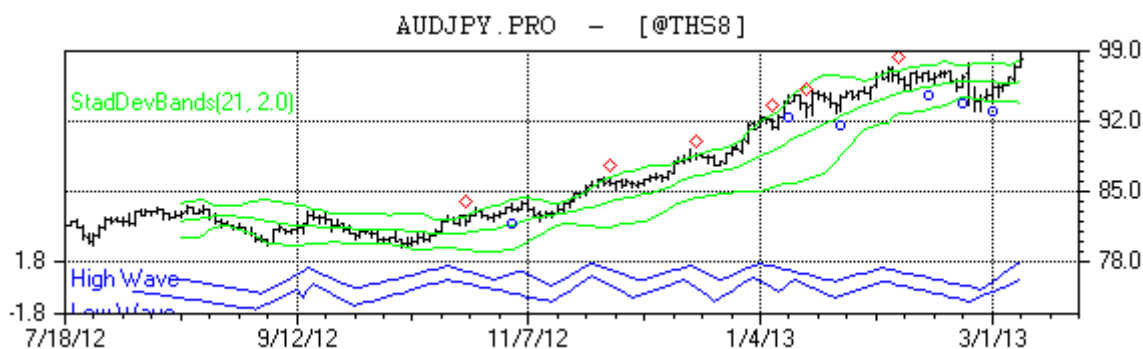
今週の売りストップ93.25。(買いストップ102.20)

3月の売りストップ89.83。(買いストップ99.43)

(下図豪州ドル円中期週足売買シグナル:)



(下図豪州ドル円短期日足売買シグナル:)

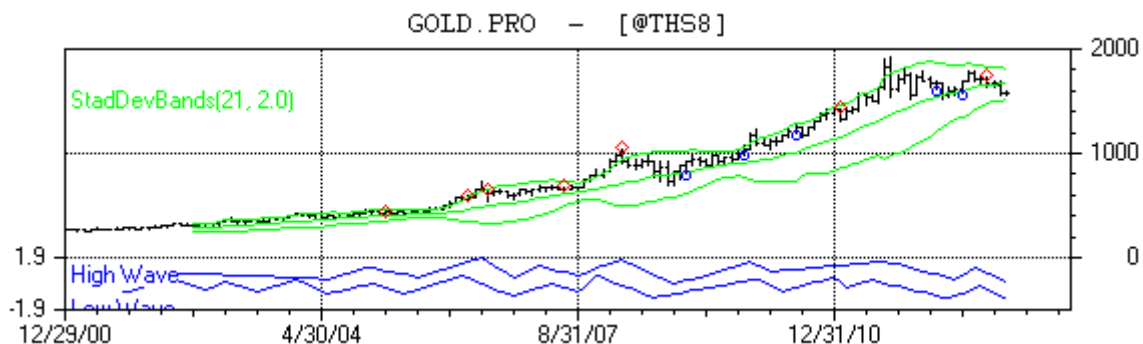


参考資料 NY GOLD : 1578.66 (1576.06)

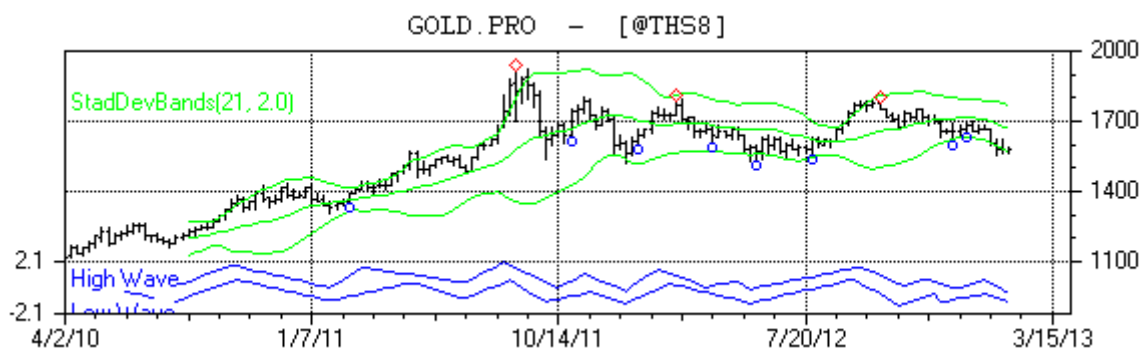
NY GOLD : 長期弱気中。中期弱気中。

株式テクニヘッジ・レポートよりチャートのみ転載。

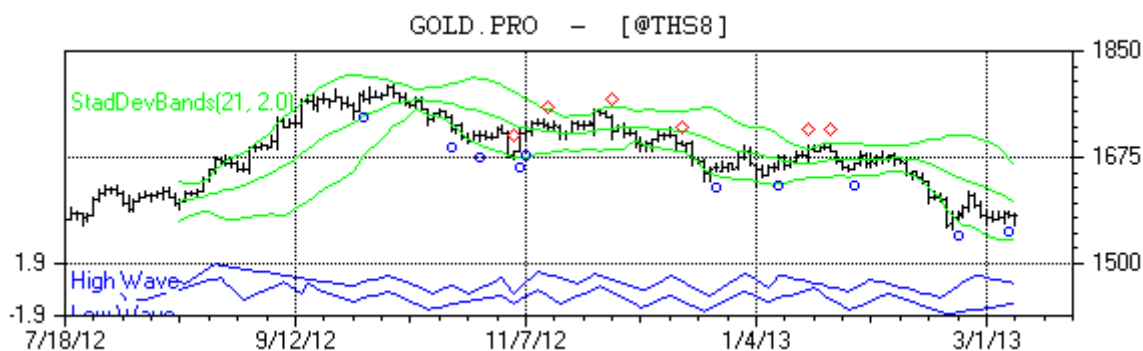
(下図は NY GOLD 長期月足売買シグナル)



(下図は NY GOLD 中期週足売買シグナル)



(下図は NY GOLD 短期日足売買シグナル)



テクニヘッジ・レポートの読み方（簡略版）

前書き：

本簡略版レポート解説マニュアルはテクニヘッジ・レポート週報を対象に書いてあります。内容は為替市場、内外株式市場、内外国債市場及び内外商品市場にも同様に適用されます。他の市場では該当する金融商品を読み替えてご理解ください。尚、本マニュアルは代理店 HP で無料ダウンロード出来る完全版マニュアル（開示文書）の簡略版です。

売買シグナル：

チャートの上部に表記されたダイヤモンド印はそのバーで点灯した天井「売りシグナル」です。チャートの下部に表記された丸印はそのバーで点灯した底入れ「買いシグナル」です。これは田中 CRM が 1996 年頃に開発したコンピュータ・ヘッジ・システムの売買シグナルで、本文中にシグナル点灯月日と価格水準を明示してあります。シグナルは過去 15 年間同じシステムから点灯しており後講釈で付けた物ではありません。リアルタイム配信したものです。

「**売りシグナル**」にて周期的天井を認識。

「**買いシグナル**」にて底を認識するとお考え下さい。

これは逆張りエントリーの試みです。日足、週足、月足それぞれに独立した「**売買シグナル**」が提供されます。「**売買シグナル**」とは「**周期的転換点を予測するシグナル**」を意味しています。

「**売りシグナル**」では天井にて強気が弱気に転換、「**買いシグナル**」では底にて弱気が強気に転換すると予想します。

売買ストップ：

天井と底を予想する転換点シグナルが当たらない事はありますが、それを早期に認識し、自分が間違っていることを自動的に識別するには、正確で有効な損切りストップ（逆指値）を設定する必要があります。損切りをして損失を予め限定し、さらに逆張りを停止してリバーサル（どてん）にて順張り新取引方向を定める自動的な仕組みが「**売買ストップ**」です。

ブレイクアウト：

「**売買ストップ**」は指定された価格からの「**ブレイクアウト**」発生により執行されます。つまり順張り相場方向を自動的に認定します。価格がストップ水準を飛び越えることを「**ブレイクアウト**」発生と呼び、これは順張りのトレンド・フォロー手法です。「**売買シグナル**」が、**周期的逆張り**であるのとは逆のアプローチです。

本レポートでは引け値がストップ値を飛び越えて引けた場合にのみ「**ブレイクアウト**」と呼びます。ストップ値に到達はしたが引け値はストップ値以前に押し戻されて引けた場合は、単に「**ストップに到達**」と表現します。

チャートと時間枠の読み方：

短期日足分析：デイリーベースのシステムが認識した市場方向性と市況を記載してあります。週報の読者には単に参考情報でありストップや予想レンジは記載されません。

中期週足分析：数週間から数ヶ月の中期市況認識に適しています。週初に注文を出すことの出来る方に適しています。なお日足取引者は、中期分析を参照することにより、日足の動きを支配している中期傾向を知ることが出来ます。シグナルの精度は日足よりも高いことが多いといえます。

長期月足分析：

半年から 1 年の長期時間枠で市況を判定する事を目的とします。月初に注文を出すことが出来る長期取引者に適しています。しばしば長期天井（または長期底）のシグナルが最高値（または最安値）付近で正確に点灯します。

トレンドの概念：

（周期的に点灯した）「**売りシグナル**」が、その直後に「**買いストップ**」をブレイクして方向認識が強気に再転換すると、しばしばそこから**強気トレンド**が発生します。

（周期的に点灯した）「**買いシグナル**」が、その直後に「**売りストップ**」をブレイクして方向認識が弱気に再転換すると、しばしばそこから**弱気トレンド**が発生します。

トレンドによる最大収益は、その直前に比較的大きな損失、もしくは小額の連続的損失を被った直後に実現する事が多いと言う経験則があります。

トレンド・フォロー：

ストップを連続的にエントリーとして使い、常にポジションをひっくり返しながらトレンドに追従していく手法を**トレンド・フォロー**と呼びます。この手法では年に数度の最大級収益は大きいのですが、それに比例してドロダウも大きくなることをご承知ください。

利食い：

本レポートでは利食い水準をシステム情報としてシステムティックに記載することはしていません（2012 年初期より一部通貨に導入予定）。本文では時折高値目標値、安値目標値として言及してあります。一方各バーに対しては予想高値と予想安値を提示してあります。

システム取引の限界：

レポートに提示されたシグナルとストップだけで、通貨取引の全てが解決するわけではないことを理解する必要があります。本レポートが意図するのは、読者の皆様に市況の核心に迫る最低限必要なシステム情報を出来るだけ正確に提供する事であり、取引上の問題に係る個々のアドバイスは一切行っていません。

外国為替予想・分析テクニヘッジ・レポートは、投資判断の参考となるシステム情報の提供を目的としたものです。売買の決定は読者ご自身の判断でなされるものであります。また、テクニヘッジ・レポートのいかなる部分も一切の権利は TANAKA CRM 社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で引用、複製または転送などを行うことを法律にて禁じられています。